

目次 Contents

2 - 7 応募要項_2022 日本語 Application Guide_2022 in Japanese

7 - 14 応募要項_2022 英語 Application Guide_2022 in English

富山ガラス造形研究所 アーティスト・イン・レジデンス
事業概要および募集要項

1 事業内容

富山ガラス造形研究所では、富山のガラス芸術文化活動の振興と地域の活性化、人材育成を目的として2010年度よりアーティスト・イン・レジデンス事業を行っています。

本事業では、国内外で活動するガラス作家を公募し、その中から選ばれた作家は富山に滞在しながら作品を制作します。また、その間に一般向け公開講座や学生を対象とした講義、実演を行い、地域や学生との交流を図るとともに、期間終了時には富山市ガラス美術館において成果発表としての展覧会を行います。選ばれた作家には富山での関わり、地域性を反映する作品制作を期待しています。

作家は、富山の自然豊かな環境の中で制作に取り組むことができ、その成果は滞在期間終了後も作品を通して残っていきます。さらには広報活動を通じ作家と「ガラスの街・とやま」双方の魅力を、国内外へ発信してゆく機会となります。

2 主 催

富山ガラス造形研究所公開事業実行委員会

〒930-0143 富山県富山市西金屋 80 番地

URL: <http://toyamaglass.ac.jp/>

3 事業期間

2022年10月21日（金）～12月1日（木）（6週間）

4 募集人員

1名

5 募集対象

今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、国内居住のガラス作家のみの募集とします。

国内でガラス作家として活動している方で、技法を問わずその活動や作品が富山のガラスに新たな刺激を与えると思われる方を選定します。年齢性別は問いません。

6 応募条件

- a) 事業期間中、富山に滞在して制作できること
- b) 地域との関わりに興味を持って制作に取り組むこと
- c) 制作の成果を作品として発表できること
- d) 滞在の趣旨を理解し、公開講座や研究所授業内における活動などの交流事業に

積極的に参加できること

- e) 健康状態が良好であり、作家本人が主体的に制作に取り組むこと
- f) 招聘条件に同意し、応募から事業終了までを責任を持って行えること
- g) 日本語もしくは英語でスタッフと問題なくコミュニケーションがとれること、また事務局職員、富山ガラス造形研究所スタッフ、富山ガラス工房スタッフの注意事項に沿って制作を進めること

7 応募方法

応募フォームに必要事項を入力し、提出期限までに送信してください。

- 1) 顔写真は過去6ヶ月以内に撮影されたものとします。
- 2) 写真のサイズは縦横最大1200ピクセル程度としてください。
添付可能なファイル容量は1ファイルにつき2MBまでとします。
JPEGデータ（拡張子がjpgまたはjpeg）のみとします。
- 3) 動画作品も応募可能ですが、作品写真と合わせて10点以内におさめてください。
動画はMP4データ（拡張子がmp4）で合計2分以内におさめてください。
動画での応募はファイル転送サービス「ギガファイル便」(<https://gigafile.nu>)
で、tigainfo@toyamaglass.ac.jpへお送り下さい。
件名は「アーティスト・イン・レジデンス2022 応募 氏名」としてください。

(注意)

書類に不備があった場合は無効とみなし、受理しません。

滞在作家に選ばれた場合は、顔写真、作品写真のデータは広報用などで使用することがあります。

8 提出期限：6月15日（水）必着

9 選考および通知

提出書類をもとに公開事業実行委員による審査によって選考・決定します。審査結果は7月28日（木）までにE-mailにて通知いたします。

結果の公表前には、選考に関する問い合わせには一切お答えできません。

10 作品制作における安全性

作家は富山ガラス工房の設備を使用し、作品制作を行います。富山ガラス工房は公共のレンタル工房であることを理解し、設備を使用する際は富山ガラス工房の利用規約に従うものとします。そのため事業期間中に行う制作方法が、周囲に対して健康を害する恐れがないことを基本とします。

1 1 滞在と制作

滞在は富山ガラス工房のゲストハウスで、制作はアトリエおよび富山ガラス工房を利用します。ただし富山ガラス工房の利用は、最長で一週間に5日までとし、その利用にあたっては富山ガラス工房の利用規約に従うものとします。

また、富山ガラス工房で吹きガラス制作を行う場合は、事前の申請により制作アシスタント1名をつけることができます。

富山ガラス工房 URL: <http://www.toyama-garasukobo.jp>

1 2 交流事業

ガラス芸術文化の振興、地域や研究所学生との交流を目的として、本事業に関連する公開講座、学生を対象とした講義や実演を行います。作家はその講師を務めるものとし、また滞在制作の成果発表として作品展示を行います。

a) 公開講座

滞在中、富山ガラス造形研究所または富山ガラス工房にて作品紹介や制作技法などについて講義・実演などを一般公開講座として行います。

b) 研究所における活動

学生を対象としたレクチャー、ガラスデモンストレーション、アーティスト・トークなどを行います。

c) 作品展示

滞在中に制作した作品を含め、成果発表として富山市ガラス美術館で作品展示を行います。

2022年11月23日（水・祝）～11月27日（日）

1 3 招聘条件

事業主催者と作家は以下の条件に同意し本事業を行うものとします。

項目	内容
交通費	<p>主催者は一回分の往復交通費を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 居住地の最寄りの公共交通の駅等から鉄道利用による富山ガラス造形研究所までの公共交通の運賃。（原則） ただし、やむを得ない理由により航空利用等とする場合は、主催者との協議が必要であり、交通手段を主催者に連絡する。・ 上限 200,000 円・ 上限を超える費用は作家負担とする。・ すべて到着後に支払いする。

滞在期間	6週間（42日）
活動費用補助	<p>主催者は滞在期間中の活動補助費を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日 3,000円 × 42日 = 126,000円 <p>※但し、上記金額に対し所得税が源泉されます。</p> <p>日本居住者 10.21%</p>
材料費	<p>主催者は滞在制作にかかる原材料費を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上限 250,000円 ・ 上限を超える費用は作家負担とする。 ・ 請求には所定の手続きを行う。
宿泊施設	<p>作家は主催者が用意するゲストハウスに宿泊することができ、宿泊は原則作家本人のみとする。</p> <p>宿泊費用は主催者が負担する。</p> <p>それ以外の場所での宿泊費用は作家負担とする。</p> <p>滞在期間中の宿泊場所の清掃は作家が行う。</p>
制作場所① (富山ガラス工房)	<p>作家は富山ガラス工房の設備を利用し、制作を行うことができる。</p> <p>富山ガラス工房の使用時間は平日午前 9時から午後 5時とする。(メンテナンス等で作業ができない場合もある。)</p> <p>作家は富山ガラス工房のホットショップ、コールドショップ、電気炉を使用できるものとする。</p> <p>富山ガラス工房の利用は最長で一週間に 5日までとし、その利用にあたっては富山ガラス工房の利用規約に従うものとする。</p> <p>富山ガラス工房は公共のレンタル工房であることを理解し、他の利用者、見学者の健康や安全に十分留意した上で制作を行う。特に騒音、有機溶剤、薬品類、ガス、粉塵、ワックスの電気炉内での脱ロウ等、健康上の注意を要する作業は、主催者と富山ガラス工房が協議のうえ、その可否を判断する。</p> <p>使用した設備は、作家本人が清掃を行う。</p> <p>富山ガラス工房の設備を使用する場合は、事前に主催者を通して富山ガラス工房に予約申請を行う。</p> <p>予約のキャンセルや変更がある場合は、事前に主催者を通して富山ガラス工房に連絡をする。</p> <p>富山ガラス工房の利用費用は主催者が負担する。</p> <p>富山ガラス工房の施設や設備を修繕している場合は、利用</p>

	できないこともある。
制作場所② (作家アトリエ)	<p>作家は、ゲストハウスに隣接するアトリエを使用し、制作を行うことができる。</p> <p>アトリエの使用時間の制限はないものとする。</p> <p>19時以降の作業は、近隣住民の迷惑にならないよう、騒音に留意する。</p> <p>作家は、アトリエ内の小型電気炉（内径 30cm×30cm×30cm）を利用することができる。</p>
制作終了時	作家は、滞在制作終了時に宿泊場所と制作場所の清掃をし、設備備品を原状復帰の状態の主催者に返却する。
交流事業(公開講座、研究所における活動)	<p>作家は、交流事業として主催者が企画する一般向け公開講座、研究所授業内における講義や実演での講師を務める。</p> <p>チラシ等の広告物は作家と協議の上、主催者が制作する。</p>
交流事業（作品展示）	<ul style="list-style-type: none"> ・作家は、滞在制作の成果発表として、滞在期間終了時に作品展示を行う。 ・出品作品は、滞在制作中に制作したもの並びに作家が用意したもので、主催者と相談のうえ決定する。 ・ただし、あらかじめ作家が用意した作品の郵送料や保険料及び滞在中制作したものの搬入、搬出費用は、主催者が10万円を上限として一部負担する。 ・会場費は、主催者が負担する。 ・DMの作成は、主催者との協議のうえ、主催者が行う。 ・展示期間中、作品の破損、盗難などについて主催者は責任を負わない。
活動記録	主催者は、本事業における作家の作品、制作活動を写真・ビデオ等で記録する。その著作権は主催者にあり、広報活動に利用することができるものとする。
作品記録	<p>本事業で制作された作品の著作権は作家に帰属する。</p> <p>ただし、本事業の広報宣伝のために使用する権利は主催者に帰属するものとし、SNS等をはじめ広報活動に利用することがある。</p>

広報活動	作家の写真や経歴等のデータ、作品写真等を本事業の広報活動に使用する場合には協力を求めることがある。 また、マスコミの取材対応等についても、作家は制作に支障のない範囲で協力を求めることがある。
作品の寄贈	作家は、滞在期間中制作した作品を富山ガラス造形研究所に1作品以上寄贈する。寄贈作品については協議のうえ、事務局が選定する。
主催者事務局	業務時間は平日午前8時半から午後5時までとする。

1.4 コロナ禍におけるアーティスト・イン・レジデンス開催について

- 1) 2022年度アーティスト・イン・レジデンスは、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、富山ガラス造形研究所公開事業実行委員会が定める対策に基づいて開催されるものとし、作家はその対策に従って滞在し、作品制作を行うものとします。また、制作および交流事業についても、それぞれの施設または開催場所の対策に従って行うものとします。
- 2) 新型コロナウイルス感染状況によっては、2022年度アーティスト・イン・レジデンスの実施を中止する場合があります。また中止となった場合、延期はありません。中止と決定した場合は、速やかに作家へE-mailにて通知いたします。
- 3) 制作アイデアおよび交流事業に関して、新型コロナウイルス感染状況によっては、アイデア提出後にプランの見直し、変更又は制限を行う場合があります。

1.5 問い合わせ先

富山ガラス造形研究所公開事業実行委員会（富山ガラス造形研究所内）

〒930-0143 富山県富山市西金屋 80 番地

TEL : 076-436-2973 FAX : 076-436-2974

e-mail : tigainfo@toyamaglass.ac.jp

URL : <http://toyamaglass.ac.jp/>

“Artist-in-Residence” Program at the Toyama Institute of Glass Art

Program Outline and International Application Guide

1. Summary

Toyama Institute of Glass Art (hereinafter referred to as “TIGA”) has undertaken a program called “Artist-in-Residence” since 2010. The aim of this program is to promote glass art and cultural activities in Toyama City, to invigorate the local community, and to develop human resources.

In this program, one artist who has been selected from a pool of international applicants produce his/her art works while staying in Toyama. In addition to making their own work, the artist interacts with local people and students through artist lectures and demonstrations. It is our hope that the selected artist will produce work that reflects a connection with the community of Toyama. The selected artist also has the opportunity to present his/her accomplishments through a solo exhibition at the prestigious Toyama Glass Museum at the end of the residency period.

The artist-in-residence can focus on his/her work for 6 weeks in a supportive and stimulating environment, surrounded by many beautiful local natural resources and excellent facilities for glass production. In addition, this program can serve as a public activity to engage the international audience by showcasing the work of an artist and the charm of “Glass Art City Toyama.”

2. Organizer

Toyama Institute of Glass Art Extension Program Executive Committee
80 Nishikanaya, Toyama-shi, Toyama 930-0143 Japan
URL: <http://toyamaglass.ac.jp/> (in Japanese and English)

3. Period of the program

From October 21 to December 1, 2022 (6 weeks)

4. Number of participants

One

5. Criteria of selection

This year due to Covid-19, we are only accepting applications from individuals living in Japan.

An individual who has been working as a glass artist in Japan and who has potential to stimulate the glass art scene in Toyama by his/her works. Age, gender, or specific

techniques utilized do not impact selection.

6. Requirements

- a) A person who can stay in Toyama, Japan for 6 weeks and produce glass art works
- b) A person who is interested in connecting with the local community
- c) A person who can exhibit glass art works produced in Toyama as the accomplishments of the program
- d) A person who can actively participate in interactive activities such as artist lectures and demonstrations with full understanding of the objectives of the program
- e) A person who is in good health and highly motivated and able to withstand the physical demands of producing their own work
- f) A person who can agree with the “Terms and Conditions” stated below and be responsible for his/her actions from the time of application to termination of the program
- g) A person who can communicate well and work within the rules and guidelines of the staff and administration of TIGA and Toyama Glass Studio

7. Application procedure

Fill out the application form and submit it by Wednesday, June 15, 2022 (Japan Time).

- 1) Self-portrait of the applicant must be taken within the last 6 months.
- 2) Size of images must not exceed 1200 pixel maximum (width and height).
Images must be submitted in JPG or JPEG format and under 2MB.
- 3) Applicants may submit a total of 10 images and/or video files. Video files may not exceed 2 minutes.

Video files must be submitted in MP4 format.

Please send video files to tigainfo@toyamaglass.ac.jp through **We Transfer** (<http://www.wetransfer.com>).

Title of email must be “Artist-in-Residence 2022 Application_Name”

Note

- Incomplete applications will not be accepted.
- The successful applicant’s images may be used for promotional purposes as part of any activities associated with the program.

8. Application deadline

All materials must arrive by Wednesday, June 15, 2022 (Japan Time)

9. Selection and notification of the result

The TIGA Extension Program Executive Committee will select one artist. All applicants will be notified of the selection results via email by July 28, 2022. Inquiries regarding the selection process will not be answered prior to the official notification.

10. Production and Safety

The selected artist will use the facilities of the Toyama Glass Studio (hereinafter referred to as "TGS"). While using the facilities, the artist will follow the regulations of TGS, which is open to the public and to other working artists. Therefore, it is critical that applicants outline any potential health hazards (e.g., fumes, dust) associated with the techniques to be used during the residency.

11. Residency Terms

The selected artist will stay at the guesthouse of TGS. The TGS studio facilities can be used up to 5 days per week. If the artist blows glass at TGS, one staff member can assist the artist upon request.

URL of Toyama Glass Studio: <http://www.toyama-garasukobo.jp> (in Japanese only)

12. Interactive activities

The aim of this program is to promote glass art and cultural activities, and interact with local people and students. There will be additional activities held during the program such as lectures, demonstrations, and a solo exhibition. The selected artist will take part in the following activities:

a) Artist lecture:

The artist will present an artist lecture at TIGA (TGS). The artist will also introduce his/her glass art works and techniques through a public demonstration. The audience at the lecture and demonstration will mainly be TIGA students and local people who are interested in glass art.

b) Interactive activities with students:

The artist will interact with students during class time through lectures and

demonstrations.

c) Exhibition:

From November 23-27, 2022

The artist will hold a solo exhibition at Toyama Glass Museum with new work produced during the program and work made prior to the program.

13. Terms and Conditions

The Toyama Institute of Glass Art Extension Program Executive Committee and the selected artist must agree on the following conditions of the program.

Item	Description
Traveling expenses	The organizer will reimburse the following expenses: <ul style="list-style-type: none">- one round trip between the artist's current residence and Toyama, Japan- The coverage is up to 200,000 Japanese Yen (JPY)- Costs exceeding this amount will be covered by the artist- The covered amount is reimbursed upon arrival of the artist in Toyama. (The artist is required to purchase the air tickets independently and submit all the necessary documents and receipts to the organizer.)
Period of the program	6 weeks (42 days)
Production stipend	The organizer can provide the artist subsidies for production during the program upon request. <ul style="list-style-type: none">- Maximum amount is JPY 3,000/day x 42 = JPY 126,000 Income tax will be charged for the above total amount. <ul style="list-style-type: none">- Japanese residents tax rate 10.21%
Material cost	The organizer will cover material cost for production during the program. <ul style="list-style-type: none">- The coverage is up to JPY 250,000- Exceeded cost will be covered by the artist.- For the purpose of reimbursement, if the artist plans to purchase their own materials and bring them to TIGA, he/she needs to consult with the organizer beforehand.

<p>Accommodation</p>	<p>The artist stays at the guesthouse which the organizer provides. The organizer covers the cost of accommodation in the guesthouse.</p> <p>If the artist stays somewhere other than the guesthouse, all the expenses will be the responsibility of the artist.</p> <p>As a general rule, ONLY the artist may stay in the guest house.</p>
<p>Studio facilities1 (Toyama Glass Studio)</p>	<p>The artist works at the facilities of TGS. The artist must follow the regulations of TGS. Upon request, one staff member can assist the artist for glassblowing.</p> <p>The artist can use hotshop, coldshop, and the kilns of TGS. The facilities at TGS may be used up to 5 days a week (9:00am-5:00pm). While working in TGS, the artist should follow the regulations of TGS, which is open to the public and to other working artists. Therefore, the organizer and TGS will judge that applicants outline any potential health hazards (e.g. fumes, dust, excessive noise, etc.) associated with the techniques to be used during the residency.</p> <p>The artist is responsible for cleaning the facilities of TGS after every use.</p> <p>The organizer will reserve the facilities of TGS in advance.</p> <p>The artist is responsible for informing the organizer if he/she cancels any use of the facilities of TGS.</p> <p>The organizer covers the fees of TGS facility usage.</p> <p>There may be occasional closure of the TGS facilities because of maintenance.</p>
<p>Studio facilities 2 (Artist's atelier)</p>	<p>The artist can work in the artist studio located next to the guesthouse.</p> <p>The studio may be used 24 hours a day during the residency.</p> <p>The artist cannot make noise after 7pm for the sake of neighbors.</p> <p>The artists can use the small kiln (inside diameter H30cm×W30cm×D30cm) housed in the studio.</p>

End of program	The artist is responsible for cleaning the guest house. Also, the artist must clean both the working place and the facilities of TGS and return all items to their original state at the end of the program.
Interactive activity (Artist lectures, demonstrations)	As part of interactive activities, the artist will present artist lectures and demonstrations which the organizer plans to hold during the program. The organizer prepares advertising for the lecture.
Interactive activity (Exhibition)	At the end of the program, the artist will hold a solo exhibition and present his/her works to display the achievements of the program. <ul style="list-style-type: none"> - Exhibited works can be both the ones to be produced during the program and the ones produced before. The list of works will be decided in consultation with the organizer. - As for expenses for newly produced works during the program, part of the fees (e.g. installation and removal for the exhibition, return shipping fee to the artist's home country) is covered by the organizer. If previous works are exhibited, postage fee and insurance for them will be also covered (up to JPY 100,000). - The organizer covers the rental fee of the exhibition space. - The organizer prepares advertising of the exhibition in consultation with the artists. - The organizer does not take responsibility for damage and loss of the exhibited works.
Documentation of production	The organizer documents the works of the artists and the process of production with photos and videos. All the recorded items are copyrighted by the organizer and they may be used for publicity activities.
Record of work(s)	The glass art works produced during the program are copyrighted by the artist. However, the organizer possesses the right to use them for publicity activities, including SNS as related to the program.
Publicity activity	The organizer requests the artist's permission to use materials such as the artist's head shot and/or biography, and photographs of his/her glass art works for publicity

	activities of the program. The artist may be asked for interviews by media (e.g. newspaper, TV) unless they interrupt his/her production.
Donation of work(s)	The artist will donate one or more glass works to the Toyama City Institute of Glass Art (TIGA) which are to be produced during the program. The administration at TIGA will make the final decision on which glass works will be accepted into the collection after an initial consultation with the artist.
Business office	The business office open 8:30am-5:00pm Monday to Friday.

14. Additional information for Artist-in-Residence2022 due to Covid-19

- 1) Artist in Residence2022 will be held based on the measures determined by The Toyama Institute of Glass Art Extension Program Executive Committee to prevent the spread of Covid-19. The artist must stay and produce works according to the measures, also follow the measures of each facility and the venue for the event.
- 2) Depending on the Covid-19 situation, the Artist in Residence 2022 may be canceled. If it is canceled, there will be no postponement. If the decision is to cancel, we will promptly notify the artist by e-mail.
- 3) Depending on the Covid-19 situation, we may limit interactive activities, and may also ask to revise the plan submitted by the Artist in Residence.

s

15. Contact

The Toyama Institute of Glass Art Extension Program Executive Committee
c/o Toyama Institute of Glass Art
80 Nishikanaya, Toyama-shi, Toyama 930-0143 Japan
Phone: +81-76-436-2973
E-mail: tigainfo@toyamaglass.ac.jp
URL: <http://toyamaglass.ac.jp/>